

三宝に歸依するこころ

21世紀はこころの時代であるといわなければならぬほど現代は多種多様に人類の危機感が感ぜられつつある。その根本的な要因をつとめることもなく、日々切実なる苦惱は波紋の如く我等の上にも打ち寄せている。いかなる時代であっても真実の依り処を求めなければならない。ここに仏教の要に心を注がねばならない。

人間の幸福への追求はまづ命あってのもの種、とてがごとく生命を支える農工商の三宝が満たさうがござる。それは世の中の三つの宝ともいふべきである。その第一は農業である。人が生きているには食物が大切である。食物は生物の糧である。その中心は米の生産である。米をヨネといふのが宝である。第二は、食文化がある。第三には、物だけあっても家がない、衣服もない、テレビも車も電力もない、電車も飛行機もなくてはならない、人間らしい文化生活をする為には工业が宝である。第三には、食生活、物質文化に恵まれていつも物の流通がなければならない。財貨によって物の交換の円滑化に力を注ぎ、あるものはないものを補ぐ、あまれば、乏しいも宝の徳に歸依し、生涯を竟みに走る社会的産業を営む人間にはたえず不安感と生きがいをなくするのである。これを軌道修正するのが正義であり、法律であり、しかし現代は「満つればい、低すぎれば谷でこれも

佛教

発行 平成3年1月1日
岐阜県仏教会事務局
岐阜市西野町3丁目1番地
岐阜西別院内 Tel667803
編集 出版委員会
1部送料共 80円

眞実

右葉郡仏教長
青木秀英

本葉郡仏教会長
青木秀英

全日本仏教会会長 就任祝う — 美濃加茂市出身の春見文勝老師 —

平成2年9月21日 岐阜グランドホテルで祝賀会

お地蔵さまの
笑顔に期待

春見老師の略歴

明治三十八年十二月二十一日
八十五歳

春見老師の略歴

明治三十八年十二月二



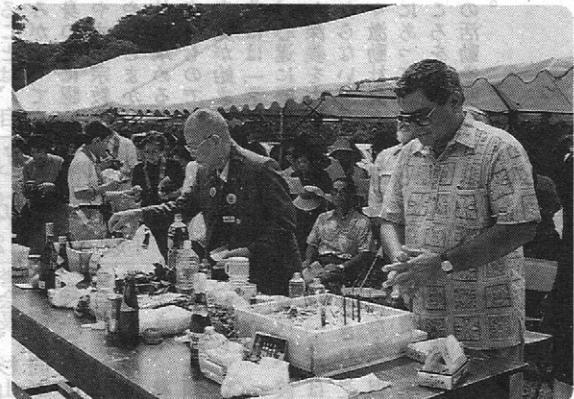
完成なった礼拝堂

激戦地で戦没者法要
岐阜県仏教会全面支援

り淨財
成募



「サイパン国際礼拝堂」
落慶法要400人参加
平成2年10月4日



太平洋戦争の激戦地、サ
イパンでは三万人余の日本
軍はほとんど戦死、米軍や
ガラパン地区の砂糖王公園
地元民にも多くの犠牲者が
の木立に埋まれた一角に建
立されたサイパン国際礼拝
堂（六角慰靈堂）の落慶法
要がこのほど、約四百人が
参列して営まれた。

太平戦争の激戦地、サ
イパンでは三万人余の日本
軍はほとんど戦死、米軍や
ガラパン地区の砂糖王公園
地元民にも多くの犠牲者が
の木立に埋まれた一角に建
立されたサイパン国際礼拝
堂（六角慰靈堂）の落慶法
要がこのほど、約四百人が
参列して営まれた。

その後、会場を近くのダ
イヤモンドホテルに移して
地元関係者も交えて記念ペ
ティーを盛大に催した。

この席で杉山会長が、岐阜
市仏教会顧問は、自身の戦争
体験を通じて、戦争の悲惨
さと世界の恒久平和を切々
と訴え、法要団員に深い感
銘を与えた。

なお、今回の慰靈法要団
のなかには、「今や進むも

死、退くも死、我、太平洋

の防波堤とならむ」の最後

の言葉を残し、当地で重傷

めは困難を極め、苦境に陥っ

た。この話を、お堂の建設に

は困難を極め、苦境に陥っ

た。この話を、お堂の建設に

は困難を極め、苦境に陥っ